

令和3年7月16日(金)
資料提供
和歌山県政・教育記者クラブ同時提供

東京大学大学院工学系研究科・中須賀教授監修
「超小型模擬人工衛星（缶サット）体験イベント」を開催します

現在建設が進められているロケット発射場「スペースポート紀伊」において、令和3年度中にロケットの初打ち上げが予定されていることから、人工衛星についての理解を深めることを目的に、この度、東京大学大学院工学系研究科 中須賀・船瀬研究室協力の下、超小型模擬人工衛星（缶サット）の製作体験イベントを開催します。

■日時 令和3年7月23日(金) 10:00～17:00 ※受付は9:30より

9:30～10:00	集合・受付
10:00～10:40	開会式
10:40～14:00	缶サットの製作
14:00～16:00	気球からの落下実験
※荒天時は体育館での落下実験を予定しています	
16:00～16:45	設計と結果の発表
16:45～17:00	表彰式

- 場所 和歌山県立潮岬青少年の家（和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669）
- 主催 和歌山県宇宙教育研究会（同研究会の概要は別紙のとおり）
- 共催 和歌山県、和歌山県教育委員会、串本町、串本町教育委員会
- 協力 東京大学大学院工学系研究科 中須賀・船瀬研究室
- 講師 中須賀 真一氏（東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授）
※当イベントの翌日（24日）には、「宇宙シンポジウム in 串本」にも登壇



2003年世界初の1kg衛星の開発・打ち上げに成功。そこから、13機の超小型衛星(100kg以下)の打ち上げを成功させ、教育、宇宙科学、地球観測探査、エンターテインメントに衛星を活用。世界でも超小型衛星の分野を開拓した第一人者であり、内閣府宇宙政策委員会委員として日本の宇宙開発計画にも関わられている。

- 参加者 串本町内の中学生（協力：和歌山県立桐蔭中学校科学部）約40名
- 内容 缶サットを製作し、コンテスト形式で発表

(写真提供：東京大学 中須賀・船瀬研究室)



(参考1) 東京大学で作った缶サットの例(2000年) (参考2) 気球からの投下実験(気球上げ始めの図)

担当	産業技術政策課 脇谷、笠松	教育庁県立学校教育課 芝崎、藤下	教育庁義務教育課 中山、西川
電話	073-441-2373	073-441-3681	073-441-3661

和歌山県宇宙教育研究会の概要

1. 目的

和歌山県串本町で建設が進む民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」に関して、串本町をはじめ県内の子供たちが、モデルロケットや水ロケットの作製・打上げを通して、ロケットのしくみや飛び原理を理解し、科学のすごさを体で感じられるよう、指導方法の研究を行う

2. 設立 令和2年9月

3. 会員

役職	役員	学校名
会長	笹井 晋吾	和歌山県立桐蔭高等学校 校長
副会長	戸川 定昭	和歌山市立河北中学校 校長
事務局長	藤木 郁久	和歌山県立桐蔭高等学校 教諭
事務局次長	太田 昇	串本町立串本中学校 教諭
事務局次長	成戸 秀和	和歌山市立芦原小学校 教諭
委員	将口 聡	和歌山県立桐蔭中学校 教諭
委員	坂井 英行	和歌山県立新宮高等学校 教諭
委員	藤澤 憲	和歌山県立紀伊コスモス支援学校 教諭
委員	萱石 浩恭	和歌山県立田辺高等学校 教諭
委員	塩崎 智哉	和歌山県立海南高等学校 教諭
委員	西岡 健太郎	近畿大学附属和歌山高等学校・中学校 教諭
委員	谷所 正崇	海南市教育委員会 指導主事
委員	東 邦光	新宮市教育委員会
委員	角 友子	那智勝浦町立色川中学校 教諭
委員	菅井 崇文	和歌山県立串本古座高等学校 教諭
委員	南出 由希	串本町立大島小学校 教諭
委員	上木原 浩之	田辺市教育委員会 指導主事
委員	瀧本 剛史	田辺市教育委員会 指導主事
委員	出口 雅人	田辺市立明洋中学校 教諭
顧問	木皮 享	和歌山大学南紀熊野サテライト 地域連携マネージャー